

第6回 市浦村社会福祉大会

輪広がるあすなるのつどい

築こうみんなの力で福祉の村を

それぞれの立場から意見発表



「みんなが幸せに暮らせる地域社会を作りましょう」と誓い合った社会福祉大会。

村民ふれあいひろば「あすなるのつどい」が、十一月二十七日午前十時から、市浦村コミュニティセンターで、村民約百二十人を集めて開きました。

あすなるのつどいは、市浦村社会福祉協議会、同老人クラブ連合会、同母子福祉会、同身体障害者福祉会が共催しており、今年で第六回目を迎えました。

つどいでは、まず、市浦村老人クラブ連合会の成田永吉会長が、開会を宣言し、主催者側を代表して青山又一村社会福祉協議会会長が「村民一人一人が手を固くにぎり合い、みんなが幸せに暮らせる地域社会をつくりましょう」と、あいさつしました。

このあと、長い間社会福祉事業に協力し、地域福祉の向上に貢献した人たちへ感謝状

の贈呈、被表彰者を代表して村元富弥さんが謝辞を述べました。来賓として出席した工藤誠一郎村助役、青山又一村議会議長らが祝辞を述べ、コミュニティ社会を形成するために、助け合う思いやりの心を大切にし、相手の気持になっ行動することが必要だ。みんなが幸せになることは、まず、自分が健康で長生きしなければならぬ。健康なくして福祉は望めない」と、激励しました。

続いて、老人クラブ連合会代表の葛西子ヨエさん、身体障害者代表の高橋精一さん、施設代表の長利友子さん、母子福祉会代表の小山内千津子さんらが、それぞれの立場から意見発表をしました。

当日は、婦人団体や母子会、民生児童委員らが準備した昼食をはさんで、地区婦人会、老人クラブによる芸能発表があり、和やかに楽しい一日を過ごしていました。

続いて、老人クラブ連合会代表の葛西子ヨエさん、身体障害者代表の高橋精一さん、施設代表の長利友子さん、母子福祉会代表の小山内千津子さんらが、それぞれの立場から意見発表をしました。

感謝状受賞者は次の通りです。

村元富弥、高坂善五郎（以上磯松）、浜田昭彦（十三）、吉田サタ、鳴海藤雄、三上リツ（以上相内）、脇元老人クラブ陶芸教室

母子福祉会を代表して、私が日ごろ考えていることを述べてみたいと思います。

私たちは配偶者である夫を、みなさまへ承知のとおり、私たちは配偶者である夫を、交通、海難あるいは不慮の災害、病死等によって突然母子家庭に転落した十八歳以下の児童を持つ人々の会です。

ある人は二十歳代で三人の子供を残されて、夫に急死されたとも聞いております。

乳のお子を抱えての生活は筆舌に尽くし難く、時には女であることすら忘れて、子育てに頭を悩ませるを得ないことも事実であります。しかしながら、就職するとすると、祖母の健在でおられる家庭はよいとしても、その他の人々は容易に仕事に就けずにいるこ

社会福祉大会では、それぞれの立場の代表から意見発表が行われましたので掲載します。

厳しさを増す母子家庭

小山内千津子
（母子福祉協議会代表）

とは申すまでもありません。母子福祉法の基本理念には、「すべての母子家庭には、児童が、そのおかれている環境にかかわらず、心身ともにすこやかに育成されるために必要な諸条件と、その母の健康で文化的な生活とが保障されるものとする。」と、ありません。私一人のみで自立をはかり、家庭生活の安定と向上に努めてはいるもの、思うようにいかない事情にあります。先にも申し上げたとおり、職に就くといっても容易でないことはおわかりのことと思います。

そこで、村当局にお願いする訳ですが、公共施設を建設する。その施設内に売店などを設置するときは、優先的に私たち母子会に、その権利を与えてくださるよう、お願い申し上げます。私の発表を終わります。



意見発表

意見発表

生きがいを持ち 人生を楽しく

葛西 千子



(福元ささみ老人会)

停年で職場を退職したのは五十八歳の時でした。子供たちも独立し、主人と二人暮らしの毎日でしたので、何か心の支えになることは暫と思

立ち、内海の療護園へボランティアに行ってみようと思いましたが、皆様ご承知の通り、重度の障害者の施設です。

出来上ったばかりでしたので、職員も若い人ばかりで、年寄りの手も必要なの事もあるだろうと思つたのです。編み物、ミシンがけ、草とり、畑仕事と仕事はいろ

ろありました。夢中で仕事をし、昼食時に少し休憩し、午後四時ごろ帰宅するのですが、いつもあれもやっていたら、これも少し残したと思つて帰ります。

園の子供たちは、病気のためには言葉は正確に言えません

が、健康体の人以上に感受性のすとい子がいます。

ある冬の寒い日、指導員がどうしても別の用事のために、かぜ気味の男の子の食事の依頼されました。部屋に行つてみると十五、六歳の男の子で

半分位食べさせ、お薬を飲ませ下の仕事をしたら二時間近くもかかりました。

そして春がすぎ、夏のある日、ミシンがけをしている私

のそばへ、車椅子で目についている子供がいますので、誰かなと指導員に聞きますと、「冬にあやみに食事させてもらつた後です」と、教えてくれました。私はびっくりしました。すっかり忘れてしま

っているのに、後者は覚えていてくれたのです。病気のため、自分の意思を人に伝える事は出来るけれど、普通の人も何にも変わることがありません。あの明るい子供たちの笑顔がどんなにか私の支え

になっていくか知れません。

持ち弁当で通い五年が過ぎようとしています。今では若いお母さんたちが二人加わり三人で来ています。ボランティアは暇をみて、というのではなく、暇を作り出して行うものと確信しております。

老人クラブへ入会したのも五年位前です。「老人クラブへ入ったって、空き拾い」とり残されないうちに、一人一人が自覚し、たえず目を向けて行くことが必要です。また、それをしてくれるのが老人クラブの使命だと思います。

行政側、特に社協は、老人たちはどうしたら健康で長生きするかを考えています。増え続ける老人人口、それに伴う一人暮らしや遅い老人、痴呆症に悩む家族、老人問題は数限りなくあります。これらを克服してゆくのも私たちに与えられた課題ではないでしょうか。

老人クラブには幸い、生きがいセンターがあり、陶芸クラブが行われていて、八十四歳のおおあさんか三十代の若いお母さんたちが盛んに陶芸を楽しんでいます。九月の

敬老の日には、村内のお年寄り四百余名の方に湯のみ茶わんをプレゼントすることができました。毎年、商工会やふるさとまつり、NHKやふだ出品し、販売した利益を村の社協に寄付しています。老人クラブも大したものです。本長も毎月読んだり、見ることができず。計画していたし、

敬老の日には、村内のお年寄り四百余名の方に湯のみ茶わんをプレゼントすることができました。毎年、商工会やふるさとまつり、NHKやふだ出品し、販売した利益を村の社協に寄付しています。老人クラブも大したものです。本長も毎月読んだり、見ることができず。計画していたし、

これからは、老人大学も開校されます。一人でも多く受講し、一緒に学習しようと思っています。

めなわ。づりに、いま取り組んでいます。一度の経験もない私も毎日左なわに挑戦し、汗だくです。一つでも出来れば何とも言えないくらい喜びです。この喜びが健康に役立っているのではないかと、思っています。

今日、大勢の皆様の前で、しかも人生経験があまりありませんが、保育所体験を述べさせていただきます。これを、大変感謝に存じます。

さて、昨年、日本中科学博覧会にきわい、ごご科

舞い散る落葉のリズムに季節の彼方が、白い雪景色の連日であうと思われ今のこのころ、月見草の里市浦村では治道運の遅咲きのハマナスの紅色が、かすかなをこみみ与えております。

意見発表

長利友子

(福元保育所々長心得)



学などといふなじみのない難しい物語が、大変身近に感じられるようになりました。

時々、子供たちは、お土産のミッキーマウスの帽子を得意そうに見せて、「先生ノ科学博覧会ってなにに、と聞

るころはもう、そうなっていたんだけど、その夢がかなえられること、それが科学です。かみくだいて言う顔を見て子供たちは「ふん」と半分分ったような、分らないような顔をします。そして、「せば、せんせいノ科学って何でもかなえられるんだけ、」のその声も、大の大人人間の言葉にできることが、科学って言葉のと言葉が、私心をとらえます。何てのびのびした発想なのでしょう。何て創造的な発想なのでしょう。

ありませんか。このたびの国会で、老人健康保険法が二歩も、三歩も後退しました。それに対して私たちは、自分の体によく注意して病気にならぬように心がける位がせいぜいです。粗大ゴミなどご指導されぬように、自分を新たにしよう。これからの人生を楽しく生きようではありませんか。



下平尾 勲氏

(福岡大学教授)

大阪市立大学大学院卒。佐賀大学助教授を経て現職。専攻は金融地場産業論。著書に「現現代地場産業論」「貨幣と信用」ほか。東北地方の「むらづくり」で指導的役割を果たしている。市浦村長期総合計画策定専門委員長。

大きな夢と ビジョンが大切

村づくり基調講演

これからのまなびの課題

地域資源の活用

昭和四十年不況の影響を受けて、非常に深刻で産地がほとんどつぶれていった時代、私は佐賀大学に赴任中でしたが、有田焼の調査に係わりました。その時の我々の基本的な考え方としては、まず、地元にある資源をどう使うか、ということが第一にありました。伝統、歴史、あるいは様々な人たちの力の出せる雰囲気、あるいは教育制度をどう作っていくか、といったこと

第二には、市場が変わっていくと、消費者の好みや価値

感が変わっていく訳ですから市場の方から産地をどう作るか、ということを見ないため、地域の中からだけ見ただけでは時代遅れになってしまっただけです。

それから第三に、他の業種、他産地等を調べて、よそが何をやっているかを研究しようというところで、京都の焼物産地、あるいは瀬戸、美濃、輪島の漆器をすいぶん勉強いたしました。輪島の産地、山中の産地の在り方、豊岡のカバン、それから日本の優れた企業体として、松下やソニーを産地の人たちが我々と一緒に頑張って行ったのです。優れた業種、優れた産地から勉強して、情報や知識を入れてよすとした訳です。さらに町の中には、若い人たちを残すために、働く場所と文化を作ろうと、国立の焼物美術館を作ろうとも考えた訳です。そして総工費四十億円程かけて、九州とか山口県をも含めた文化館を作った訳です。設計は地元出身の人をフル

に活用し、大工は京都の宮大工に来ていただき、素晴らしいものが出来上がりました。そうすると、地元の高等学校の卒業生がものすごく残るようになりまして、しかも、役場では町立の民俗資料館を作ったり、また、別に先祖様に申し訳ないというの。先人陶芸の碑、というのまで作った訳です。

教育制度の確立

それから、人づくりのためには、きちんとした教育制度を作らなければだめだ、十年後の地域を作るためにも、いま、人を残し、外部から人を集めてくるものを作ろうということで、県立商業高等学校を作った訳です。そうしますと地元の工業高等学校の卒業生が残りません。そこで、教えては古い商業というものを教えて、高等学校ではニューセラミックスを主要な科目にして授業体系を作り、それに詳しい先生に来てもらって、そして三年の間には、日本の東芝や日立がお願いに来るだけでなく、アメリカからも人が集まるようになったのです。そうすると今度、地元の中学校から

地元の工業高等学校に進学できない、どうしてないからと、英語力が足りなからいす。そこで町の役場が三百万円を出して、オックスフォード大学を卒業した二十二歳の女性を十一月間雇ったところ、若い先生方が大変ハッスルして、学校中英語の雰囲気になり、学校の学力がぐんと上がった訳です。そういうふうにして、中学、高校、大学という制度の中で、それを卒業した人たちが地元に残すようにする。

言葉は悪いかもしれませんが、人材をよすから「かっぱらってくる」といった基礎的な方向づけをしたのが昭和四十五年であります。つまり、昭和四十五年のその構想がやっと実現されてきた訳です。それから、地元の産業の活性化を起させるためには、産地区々々の体制を作らなければなりません。そのためには、商人の意識を近代化させることが大切です。彼らに借金させて新しい所に移させる、新しい所というところで、廻り地を作ったのであります。山をはいで住みかしたので、猛烈な地味住民からの反対がなかったので、それが商業活動が



61年8月26日、村づくり審議会がスタート。





相内小学校では北都相操大会が開かれた。



交通安全は県民の願いです。

過疎とは何ぞや

活性化するきっかけになった。このように商人とメーカーと関連の部門を、一カ所に集めるために、有田焼会館として産業会館を十数年かかって作った訳です。

昭和五十二年に福島県三島町という所で、東北六県の過疎問題の大きな研究会がございました。その時、非常に驚く話を聞きました。昭和四十八年、四十九年では一本一千万円した会津桐が、二百五十万円でも買いかたない。また、ついこの間まで百万円だった桐が、今十五万円位だといふんです。地域の特産物の価格が四分の一に暴落していることに何ら手を打たれていないんです。そういうことがきつかけになると、会津桐の調査をやってみました。そういうことから私は、過疎地域の諸々の問題に関心向けざるを得なくなった訳です。

過疎とは何ぞやということですが、過疎とは、地域社会の中から、若い人がいなくなることでなくて、問題ではないと思います。しかし、問題ではないという経済的な過疎だけではあり

ませんで、精神的な過疎の方に移っているところにこそあります。経済的に貧乏になっただけで、そして精神的にも段々と過疎になつて、何をやってだめだめだ、だめ癖が出てきています。

その理由は、農業の一年間の生活および生産の循環の体系が失われてしまったことがありまして、冬場の仕事が工業製品にとられてしまつて、何もすることがなくなつてしまつた訳です。それから農業が機械化、合理化され、余剰労働力が出来てきました。その余剰労働力を他に持つていかなければならぬわけでありまして、まず外に出るということになり、余剰労働力を減らし、地域の特産物を減らし、所得を上げる、働く場所をどうしようか、作つていくか、ということになつてしま

ました。こういう問題が表面化してくる昭和三十七年から昭和五十二年まで、私は企業誘致の時代と呼んでおります。

人の声のするまわりの

の委員になつた訳ですが、その長期計画の基本的理念は何かという、地域格差、所得格差の是正を基本的課題としている訳です。そのための基本的な手段は何かという、交通体系の整備だけになつてくるのです。もう一つは、企業誘致政策を進めることだなるのですが、私は、こんなものは間違いだと言つておるのです。こういうものをスロ

ーガンにするのではなく、もつとストックの経済というものを中心にすべきだと。ストックとは何かという面種をもつと考えましたよというものをうまく使つて、あるいは地元にある資源というものをもう少し活性化するような方法で、長期計画を考へたらうか、と言つている訳です。長期計画は目標ではなく、地域をよくするための手段だ、という考え方を立てました。

長期計画は何のために作るかという、地域に住んでいる人たちが便利で、そこに住んでいることに対して誇りを持てる、そういうものを作ることであらう。もつと簡単に言う、人の声のする町を作ることが長期計画の課題だと申し上げた訳です。そして、

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもつと力を入れるべきだと。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使つていこうというふうに発想の転換をさせた訳です。そうすると内発的な発展とか、ソフトな思索とかが非常に大切になつてまいります。

もう一つ、外的環境変化に対して、情報化、国際化、また高齢化に対して先取りした施策をとりまわつてくると。価値感もどんどん変わつてくる訳ですから、それに対して一歩先んじた施策をとることを提案した訳です。そして福島五年、昭和五十四年から五十五年の二年間に初めは全県に、後の年は過疎地域を中心に、地産産業の全面的な調査を行いました。報告書にして三百数十ページのものを二冊作りました。それは自治省がびつくりした訳です。それから歴史から漁業から町並から、観光伝統、とにかく地元にある良さを全部調べあげて、理論どう活性化するかという理論的な枠組をつつたのが五十四年から五十五年であります。



61年7月19日、十三湖中の島公園がオープンし、鼓笛隊も参加しました。





交通事故防止を呼びかけた駅伝大会。



市浦の甲子園。トリム野球大会は11回目を迎えた。

都市との連携

昭和五十五年と五十六年は都市と山村の交流というものが二年がかりでやりました。初めはこちらからみた都市との交流の条件というものを調べあげました。もう一つは都市側からみた農山村との交流事業についての結めをやり

これも報告書を二冊つくりました。これは今度国土庁がびつくりした訳です。これには地域経済の考え方として、再生産の理論、つまり地域内循環の考え方ではなくて、例えば農山村が栄えて都市が栄える。都市が栄えると、その利益を農山村に返していきましようという、そういう考え方を。つまり自然から恩恵を受けたければ、その恩恵を受けた一部を自然の中に返してあげば自然破壊にならない。農山村から優秀なる労働力、あるいは空気が、水というものを都会が欲しいなら、都会の方から農山村の方にそれ相応のものを還元して、こうというシステムをつくらない。農山村が崩壊してしまふ。農山村というのは非常に弱いものになっています。東北地域は多

くの労働力を出してきたので、日露戦争、日清戦争、第二次世界大戦の時も優秀なる軍人を出しました。ご存知のように、経済成長の時は、我が国の優秀なる労働力を出していた訳です。そして農山村が冷えてしまいますと、日本全体の活気というものがなくなってくる。その分をどうするかという、国のレベルで過疎対策を本格的にやるべきだ、農業も水と空気の浄化とか、地域文化も含めて農業の在り方を見ないと、アメリカとの競争において、やはり勝てない訳ですね。そういう意味で、農山村というものを複合的にとらえていこうという事です。そして、その資金は、福島、郡山市から回すべきである。という考え方に立っている訳です。そうしますと、福島県のネットワークに立っているところがわかります。これはおそらく青森県も同じだと思います。

開拓精神のイタリ

ところで、産おこしには開拓精神がなくなってくる。間違いない。それから地域おこし、村お

こしに大切な点は、イメージづくりであります。地域イメージは残しません。それは積極性、想像性、あるいは明るいイメージ、将来良くなるいいだろうというイメージ、そのイメージにまつわりついて若い人が仕事を出来るようになって良くなっていくんですよ。

二は十三期があり、安東文化があり、伝統、歴史があります。地域の人は認めていないけれど、むしろ外部の人たちは立派だと思っているんです。大切なことは地域の人たちが、これは立派だと思っ

生産・管理・販売のシステム化

地域産業をやっていることも同じです。産業であれば、生産と管理と販売の統一をやらなくちゃいけません。そういうことをやっていると、地域に大きな夢とビジョンをつくることです。地域の人全体が盛り上っていき、雰囲気を作ることなんです。そのためには、地域住民の教育をしていくことが必要です。外部から情報をどんどん入れて、地元についても調査をして、客観的なデータに基づいて地域の在り方を決めていかなければいけません。ですから今回、全世帯の調査を行った訳です。調査を行った理由には、地域の中がどうなっているのかという基礎的なデータを作ること、自分がアンケート調査について書けば、結果がどうなっただろうと、皆関心を持つとい

うことがあります。そうすると、地域内の雰囲気が変わってきます。過疎地域なんてはついておいて良くなるはずがないんです。普通に努力してもダメなんです。相当努力しなければダメです。しかも、その努力の仕方としては農林業だけ見ていたらダメです。やはり、もう少し新しいものを導入しながら、活性化していくことが必要です。こういう意味で、この市浦村という地域は資源は充分にあります。しかし、それをどう生かしていくかというウハウ(How)がないこと、組織がないということ、それから全体を動かしていくような、住民的な活動が比較的少なかったことに問題があるのではないかと思います。



地域づくり、村づくりに当たって、地域住民の英知の結集を切望いたします。
(61・8・26村づくり基調講演)

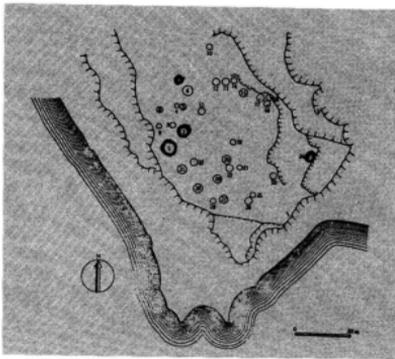
福崎城址

(5)

奥の島線



▶ 76 ◀



福島城址 鱈崎堅穴分布図

鱈場の大ききわい
しばらく福島城址の城外
と思われる鱈崎を散策して
みることにしよう。
このあたりの湖面は、明

治の初年ごろまで鱈の溜り
場であった所として漁師仲
間はタジ引きで一番組、二
番組の順番を決めたという
鱈の大漁場として知られて
いたものだろうです。そん
なところから鱈崎という名
称がつけられたものだと故
豊島金之丞翁の直話です。
この高時の水戸口は、い
わゆる古水戸とか本田水戸
(十三町奉行本田重藤開墾
の功を讃えるためにつけら
れた名)とかいわれている
ところです。江戸時代の末
期だと思いますが、十数正
のイルカが十三湖面にはい
つてきて、ネジリ鉢巻にフ
ラジ一本の裸体の若者が
ちが大騒ぎで追いかけた話
も残っています。
だからそれ以前の室町時
代の古文獻「十三往来」に
は「南は湖水漁々として、

月は水底の暗きを照し、青
波静かにして魚捕の便あり
と謳われているのです。鱈
の大漁場であったとしても
何んの不思議もありません
し、それで鱈崎という名が
生まれたという話もあなが
ち作り話ではないようです。

鱈崎に三十二個の堅穴

ここは福島城が十三湖に
突出した南端標高約一八二
メートルの台地尖端部で原野
となつていますが、私たち
素人目でも十数個(相内
史談会探訪)の堅穴群を数
えることができましたし、
昭和三十年の専門家(早大
教授桜井清彦氏)は三十
二個の堅穴を確認していま
す。直径四一〇メートル
のエゾといわれた人々の住
んでいたところです。四つ
の堅穴を発掘した結果大径
のものは住居址、小径のも
のものは井戸址であつたとい
うことです。

住居址は四辺形で、東北
西は土壁で囲まれ南に口を
開けています。出土したも
のはおもに黄褐色、赤褐色
をした口タコを使用した作

つた土師という土器片で、
中世時代のエゾといわれた
人々が用いた器物といつて
よいと思います。

エゾと雑居

そうしますと、福島城に
居住していた安藤氏(安倍
・安東)と堅穴群に住居し
ていたエゾとは雑居してい
たのではないかと思われ
るのです。雑居とまではい
かなくとも何んらかの關係
のもとに住んでいたとしか考
えられません。

「十三往来」にも「西は
漁海漫々として、夷船京船
群集し、鱈先を並べ、軸を
調ひ、漆は市を成す」と記
されています。北方の産物
を積んで入港した夷船もた
くさんあつたわけですので、
交易のために蝦夷地の人々
も、あるいは根海州方面の
人々も十三湊に来ていたの
かも知れません。鱈崎は安
東船の船着場であつたと、おそ
らく鱈崎の堅穴群のエゾは
安藤氏に配属し、荷役の役
割を果たしていたものでは
ないでしょうか。

津軽のことわざ

ふの部

福の神サ虎サ 幸運の神に背
を向けているようだという意
フタ獲フタ 損したという意
花札ゲームの一種「カオ」で
無得点を「フタ」という。
二つ三つは覺がり盛り、五
つ六つは憎まれ盛り、十五、六
は嫁入り盛り、女の十五、六
歳は結婚適期であるという
こと、早婚のことわざ。
不調法も調法のうち、不調
法したからと言つてそんなに
かしこまる必要ないという意
降らず照らずの油風アサ 暑
さすまらず、海もおだやか
な日和のこと。
古くていいのは南瓜カボチャと医者
サマ、古いものにはいもカボチャは
またたという意。医者は経脈
が物言うし、南瓜は半奇るほ
どうまじくなる。
古物カボチャは新品に
くらべて半分の値打ちがな
いという意。
踏んたうり蹴つたり さしざ
んな目にたうりこと。
豚の水登り 不可能なと
たうり。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



入学生を募集

県立弘前高等学校通信制では、昭和62年度の入学生を募集しています。

自宅と日曜スクーリング(昼間)で学習しながらレポートを作成し、規定の単位を修得しますと高等学校卒業の資格が得られます。

職業や年齢に関係なく学べますので、いろいろの立場の人達があり、勉学に、スポーツに一生懸命です。また、希望する科目だけを学ぶこともできます。

入学願書、入学案内は120円切手を同封し、下記へ請求してください。返信用封筒は不要です。

出願期限は、**3月4日～4月8日**です。

なお、就学前の子供さんのための託児室も設けております。その他、学習の仕方など詳しい事を知りたい方は下記へご連絡ください。

☎036 弘前市新寺町一番地
青森県立弘前高等学校 通信制
☎(0172) 32-9424

20歳になったら 国民年金に加入

成人になられる皆さんに心からお祝い申し上げます。

20歳から国民年金に加入することも、大人の仲間入りのあかしであり、義務と権利です。

現在、県内では20万人が国民年金から受給しており、昨年度の支給額は6百25億円に達しています。国民年金は、老後における生活

の支えとなるほか、万一の事故や病気で障害者になったときや、一家の働き手が亡くなったときにも基礎年金が受けられる公的制度です。

20歳からのスタートに出遅れますと大変です。国民年金の手続きがまだの人は、至急役場で加入の手続きをしましょう。

■ 国税日より ■

◎サラリーマンの確定申告

○確定申告をしなければならない場合

- ①給与の年収が1,500万円を超える場合
- ②給与以外の所得が20万円を超える場合
- ③給与を2ヵ所以上からもらっている場合

○確定申告をすると所得税が還付される場合

- ①マイホームをローンなどで取得した場合
- ②多額の医療費を支払った場合
- ③災害や盗難にあった場合
- ④年の途中で退職し、再就職していない場合

詳しくは、最寄りの税務相談室又は税務署にお尋ねください。

雇用保険の不正受給 を村からなくしよう

(雇用保険不正受給防止月間)
(1月31日まで)

雇用保険の失業給付は、労働者が不幸にして失業し、積極的に求

職活動をしたにもかかわらず、再就職ができなかった場合の必要な給付として、失業中の労働者の生活の安定と再就職の促進を目的に給付されるものです。

また、失業給付の財源は現に働いて保険料を納めている労働者や事業主、それに国民の貴重な税金で賄われているのです。

この意味で、不正受給は社会の善意を踏みにじる許されない行為であり、1日も早く根絶されなければなりません。

雇用保険制度は、なくてはならない正しい申告による受給と、1日も早く再就職できるよう、本制度の健全な運営にご理解とご協力をお願いします。「正しい受給で確かな就職」五所川原職業安定所

警察からのお知らせ!

「1月10日は110番の日」

あなたの非常ベル110番
事件/事故/.....110番
110番は正しく落ちていてください。



一狂気のテロ・ゲリラー

極左暴力集団の 壊滅にご協力を!

もしかしらあなたのそばに.....?

中央での取締りが厳しくなればなるほど、彼らは地方にきます。*凶器。と*狂気。から平和な生活を守るため、みんなが極左暴力集団に関心をもち、壊滅させましょう。



竹谷ヨシエ (陽元、44歳)

やる気十分な若者に期待

先日高校へ行った娘が帰ってきた。久しぶりの山や海、自然があつてナンビリ暮せるいい所だけど、ポンピロとしたこれといったものが無く、何となく暗い感じがする。働く所もない、ここにいたってどうやって食べていくの。卒直な意見にやがては遠くへ離れるだろう娘にふと淋しさを感じた。村づくり計画委員の一人として切実な思いを胸にしていた矢先、先般のふるさと祭りでの一場面、安東物語を演じた若者達の活躍ぶりには目を見張るものがあり大拍手を贈った者の一人です。裏方、演出総勢一八名のメンバーとか、これこそ21世紀を担う若者ここにあり、彼等こそ本気でやる気を感じて受給したのが見え出せるでしょう。及ばずながら力になりたいと思ふ。

すこやか日記



松橋照彦さん(相内) 長女 梓ちゃん(三歳)

父母の仕事の関係で、十三保育所に入っているの、友だちがいっぱいいて楽しいよ。



▶ 19 ◀

若者登場



有馬敦

(十三・21歳)

より住みよい 村づくりを目指そう

今日は、「百薬の長」とも。気遣い水」ともいわれているお酒についてちよつと、何かと飲む機会が多い時期です。健康なおつきあいしてほしいものです。

(-)最近若い人に流行している。「一気飲み」について
大変危険です。酔いの自覚前
に短い時間でアルコールの血
中濃度が上昇するからです。
アルコールは脳を麻痺させる
ので麻痺が深くなると、麻酔
薬と同じで昏睡して呼吸停止
することもあります。

(-)日本酒よりも、ビールやウ
イスキーの方が酔いしれない
と言われていますが、種類に
は関係ありません。飲んだア
ルコールの量によります。日
本酒一合、ビール一本、ウイ
スキー(ダブルグラス)一杯
に含まれるアルコール量は、
ほぼ同じで28gです。
(-)からだへの影響
アルコールと肝臓病はよく知
られているところですが、そ
の他にも、大酒後には頭痛発
作、けいれん等も誘発されま
すので注意を！ これらを避
けるためには、マイペースで
多量飲酒しないことはもちろ
ん、蛋白質食品や野菜類を充
分食べること、飲みすぎたら

飲酒、ほどほどに 危険な一気飲み

県済産保健婦 野宮 富子

村では、新しい村づくり計
画を進めるため、去る八月二
十六日、村づくり百人委員会
を組織しました。役員にも
計画策定企画部会を組織して
その準備を進めています。ま
だ具体的な活動はありますが、
私もそのメンバーの一人
として、これからの村づくり
に携わることになりました。
若い人たちが定住できる村に
したいと思っています。

このことは、単に役場職員
だけでできるものではなく、
村民一人一人の英知と協力し
合う心が大切であります。



完全禁酒を二日間は続けまし
よう。
四日酔いへの対応
水分、甘味、重曹、塩分をと
って、運動や入浴等を取り入
れ、尿や汗として早くに発散
させることが好ましいようで
す。

一人には赤ちゃん

山田敏昭さん(協元)
2男 裕志ちゃん(8ヵ月)
いま、ボクきげんわりの!
だって、あそぼうとおもって
いたおとうさんいなんだも
の!



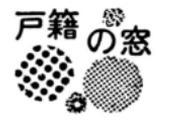
北澤

工 藤 幸三(車力)
工 藤 幸子(相内)
有 藤 幸次(太田)
有 藤 昌浩(東三)
太 田 文子(鯉ヶ沢)

水津谷村人相内

村元 蘭美(磯松) 尚悦
高村和佳奈(相内) 定男
古川 修平(太田) 秀明

お誕生
ご結婚



編集後記

一九六六年の歳すまると数日
十三湖中の島公園の仮オープン、
太田小学校の建設、木材工業セ
ンター、農水産加工センターなど、
ハードな事業が続き、新しい
一年は、これらを生かしたソフト
面での活性化をはかりたいも
です。広報しづらもがんばり
ます。どうぞ、よいお年を。
(島野)

おこやみ

福 島 キヨ(十三) 78歳

(石) 岡 克雄(協元)
(岡) 村 留利子(七戸)
(上) 野 聡(青森)
(福) 井 富士子(十三)
(米) 谷 正三(相内)
(豊) 島 勝年(十三)
(山) 田 美由紀(小樽)
(濱) 田 正義(十三)
(鹿) 山 房江(栃木)